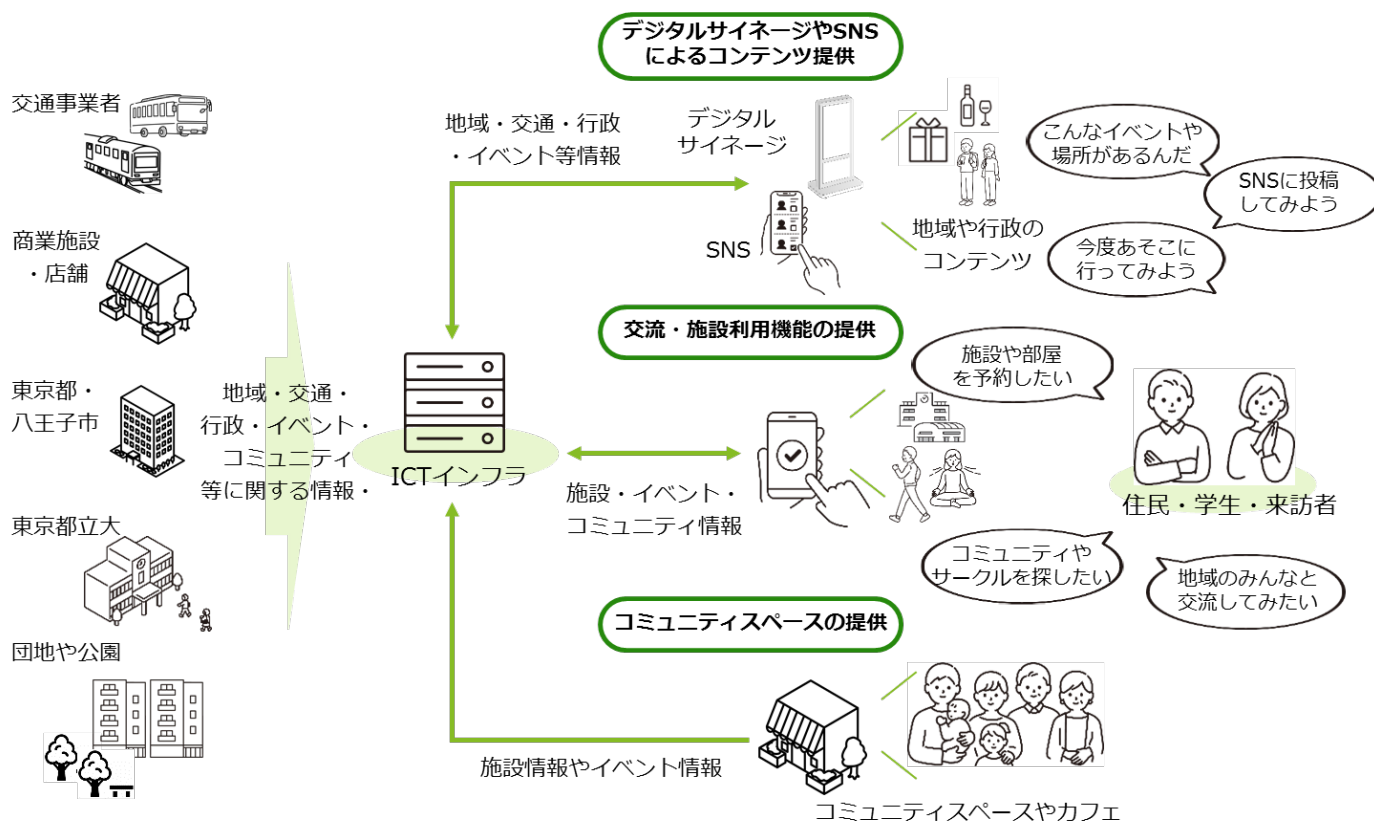


《実証計画 Ver 3 の章構成》

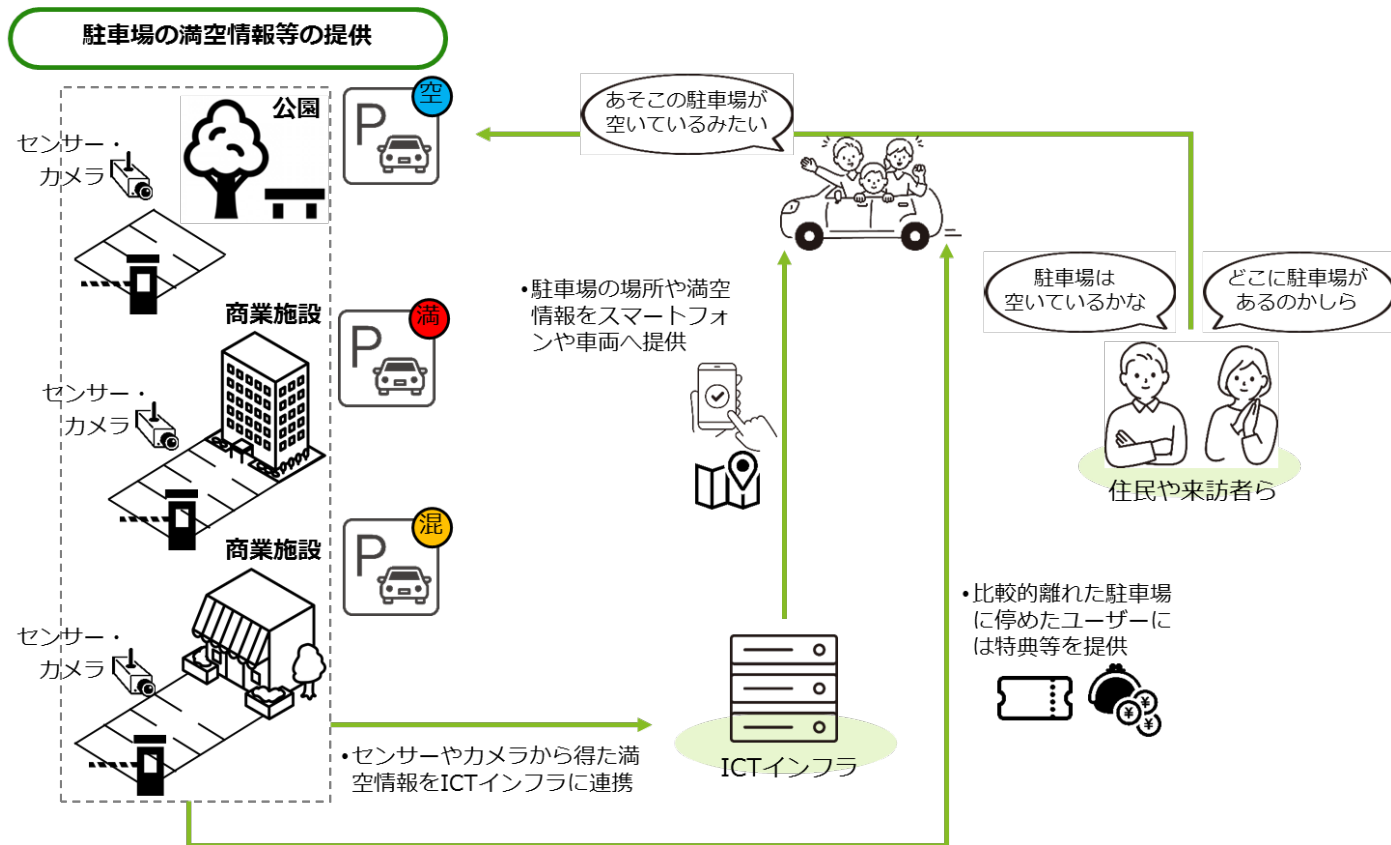
1.概要	・ 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲
2.地域の概況	・ 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲 ・ データの更新・補足の分析追加、内容の見直し等を適宜更新
3.地域のニーズ	・ 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲
4.地域の将来動向・計画	・ 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲 ・ 関連する将来計画等（まちづくり方針等）を追加・更新
5.地域の課題	・ 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲 ・ 「その他の課題」のコロナ禍に関する記載を更新、駐車場の課題を追加
6.スマートシティの今後の方向性	・ ビジョン・コンセプトはこれまでの実施計画の内容を踏襲 ・ R4年度の実証事業及びサービス企画で扱った施策を適宜追加
7.実現イメージとロードマップ	・ ①MaaS、②オンライン・オフライン融合コミュニティ形成、③地域ポイント、④その他（駐車場満空情報等）の具体イメージとロードマップ
8.ICTインフラの方向性 新章	・ ICTインフラ構築の目的、構築に向けた論点とサービス要件、全体像と展開
9.実証実験	・ R 4 年度の実証事業（電動キックボード・デジタルサイネージ・ARナビ）の内容と検証結果
10.実施・運用体制	・ R 5 年度以降の運営体制の概要
11.今後の展開と課題	・ 今後の課題について追加すべき内容を適宜追加
補足.実施計画（これまでの実施計画の内容）への意見と対応	・ これまでの実施計画の内容に対するパブコメの概要と対応方針
参考資料	・ 先進事例（会津若松スマートシティ等）・各検討内容の詳細等

《令和 5 年度以降の社会実装施策のスキームの提示（抜粋）》

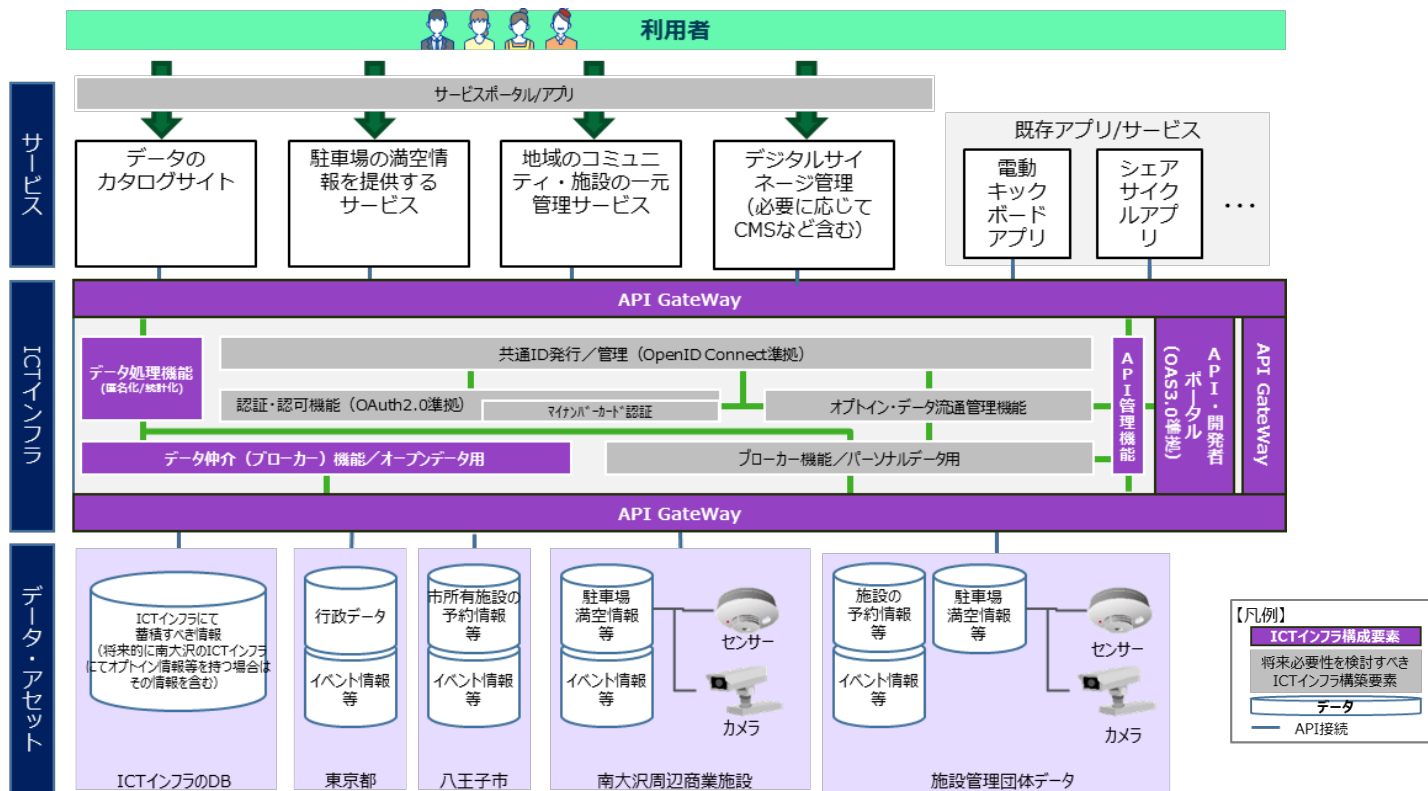
〈具体案 1〉 オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成



〈具体案2〉 駐車場満空情報等の提供サービス



《ICTインフラの全体像》



《ICT インフラ構築の展開》

		中期			2030年
		2023年度～	～2026年度	2027～2029年度	
ICTインフラの提供主体		南大沢スマートシティ協議会を核とした事業者 プロモーションを通じて事業者への参画団体・企業が徐々に増加			
サービス	アプリ	地域情報（公共） MaaS（個別） 地域コミュニティ（個別）	地域情報（公共+民間） MaaS（共通） 地域コミュニティ（共通）		
	サービス（提供主体）	協議会の既存メンバーである団体・企業ら	新たな団体・企業がサービスとして参画		
データ	やり取りするデータ	オープンデータ中心 （地域の公開情報・地域コミュニティやMaaS情報等） パーソナルデータ（実証）	オープンデータ+ パーソナルデータ（南大沢の住民・学生の各種情報）		
	データの利活用案	サービスの本格実装に注力	蓄積したデータを活用した 既存サービスの高度化	蓄積したデータを活用した 新サービスの構築・提供	
ICTインフラ	機能の概要	オープンデータを取り扱える 最小限の機能 ・ポータル（カタログ）機能 ・駐車場満空情報等の提供機能 ・アプリとのデータ連携機能（API）	パーソナルデータを扱う機能を追加 ・オプトイン・セキュリティ機能 ・データの分析機能 等	他都市・エリア連携の機能を追加	